

わたしと地球の環境展

本展は、国連が定める「持続可能な開発のための教育 10 年」並びに「生物多様性の 10 年」を支援する催しです。青い海と緑の大地に包まれた美しい星——地球。46 億年前に誕生したこの母なる星のもとで、たくさんの生命が生まれ、進化を繰り返し、命をつないできました。私たち人間は、自らの手によって招いた「環境破壊」という危機に直面し、多くの生き物の生存の権利を脅かしつつあります。危機を回避し、過去から続く生命の歴史を未来へつないでいくために今、必要なことは何か。私たち一人一人が、責任を持って考えなければなりません。

01:地球の今

現在、地球規模で起きている「地球温暖化」「水問題」「生物多様性の減少」の3つのテーマをご紹介します。



オープニング映像

大型スクリーンでは、地球が誕生した46億の歴史を、ダイジェストで紹介します。



地球温暖化

今、地球では経験したことのない早さで気温が上昇しています。専門家は21世紀中の温度上昇が、最低でも1.1℃、最高で6.4℃になると予測しています。このような中、国際社会がどのような取り組みをしているのかを、映像とパネルで紹介します。

〔映像〕温暖化の状況

〔映像〕温暖化で起きた水河の変化



水問題

人間が利用可能な水は地球上の水全体の0.01%程度しかありません。「人間らしい生活」のためには一人1日 30ℓの水が必要とされていますが、実際に 50ℓの水を使えない地域も多くあります。一方、日本は食糧を大量に輸入することで、仮想の利用水(バーチャルウォーター)を使っていることなどを紹介します。



生物多様性

生物の多様さとつながり、過去から伝わる無数の遺伝情報をまとめて「生物多様性」と言います。日常では気づかない自然からの恩恵と大切さを紹介します。

〈アマゾン・コーナー〉

世界最大の熱帯雨林・アマゾンの生物多様性を、写真や映像、昆虫標本、そして仮想現実(AR)で紹介します。また、ブラジル SGI のアマゾン自然環境センターが取り組む熱帯雨林再生のためのプロジェクトを紹介し

02: 英知の結集

持続可能な社会の構築へ、世界で行われている様々な挑戦を紹介します。



森林保全への挑戦

今、世界では予想以上に植林が進められており、地球の森林が回復してきています。なぜ植林が進んでいるのか、森林の果たしている機能とは何なのかを考えていくとともに、森林を守る世界的な取り組みをご紹介します。



エネルギーの未来は？

東日本大震災以降、自然エネルギー利用へ舵をきるべき時が来ているのではないのでしょうか。ここでは太陽光発電、太陽熱発電、風力発電など注目されている自然エネルギーについて紹介します。



世界の環境都市

世界には先進的な取り組みをしている環境都市が数多くあります。資源ゴミを野菜に交換するブラジル・クリチバ市、エネルギーの50%を再生可能エネルギーでまかなうスウェーデン・ヴェクショー市など、4つのユニークな街を紹介します。



究極の循環型社会「江戸」

江戸時代、江戸の人びとは、環境と調和した見事な循環型社会を作り上げていました。映像や当時の人びとの生活道具などを通して、江戸庶民の知恵を学んでいきます。

〔CG〕江戸の町並みを再現しました。再現映像が流れるものと、ゲームのように来場者が操作して学べるものを用意しました。

〔実物〕江戸の庶民の生活道具を展示。



地球憲章

「地球憲章」とは、世界の全民衆が環境問題の解決のための行動規範を定めた人類の環境宣言です。ここではハードカバーで装丁した地球憲章がページをめくりながら読めるようになっています。

SGIの環境問題への取り組み

SGIが国連・地球サミットで公式行事を開催したことや、ドキュメンタリー映画を公式公開作品として上映したこと、「持続可能な開発のための教育の10年」が池田SGI会長の提言をもとに提案されたことなどを、パネルで紹介しています。

未来に伝えたい言葉

世界の偉人たちの言葉を紹介しています。

03: 体験コーナー



自転車発電に挑戦

電気を作るのがどんなに大変か、自家発電ができる自転車をこいで体験できます。



アースカムプロジェクト

関西創価学園が参加しているアメリカ航空宇宙局(NASA)の教育プログラム「アースカム」を紹介します。



PHOTO EARTH PROJECT

来場者の皆さんに、それぞれ心に残る一枚の写真携帯電話から投稿していただけます。投稿された一枚一枚の写真が地球や多くの生き物たちを作り出します。